



# 東北の働く障がい者の方々を応援します 「**障がい者ものづくり応援募金」を贈呈**



公益財団法人イオンワンパーセントクラブ(以下、当財団)は4月18日(火)、「障がい者ものづくり応援募金」を通じ全国からお寄せいただいた寄附金に、当財団が同額を上乗せした35,979,524円を、AAR Japan(認定NPO法人 難民を助ける会)へ贈呈します。

この度の寄附金は、本年2月11日(土)~3月12日(日)の期間、全国のイオングループの店舗・事業所約8,000カ所と、当財団ホームページなどを通じて皆さまからお寄せいただいた金額に、当財団が同額を上乗せし贈呈するものです。同寄附金は、AAR Japanから岩手県・宮城県・福島県の障がい者就労支援事業所に届けられ、生産効率を上げる機器の提供や新しい商品づくり、販売会の開催支援など、障がい者の方々のさらなる自立と社会参加につながる取り組みにお役立ていただきます。

同募金活動は、東北復興支援と活性化を支援するため2011年にスタートしたもので、本年で5回目となりました。今回の贈呈分を含めた寄附の総額は186,893,043円となります。

当財団は、全国の皆さまと手をたずさえ、これからも東北の創生に向けた取り組みを 進めてまいります。

【「障がい者ものづくり応援募金」贈呈式について】

1. 実施日:2017年4月18日(火)10:00~10:30

2. 場 所: AAR Japan 事務所6階

住所:東京都品川区上大崎2-12-2ミズホビル

3. 寄附先: AAR Japan

4. 寄附額: 35,979,524円

内訳:募金 17,989,762円

当財団 17.989.762円

5. 出 席 者: 認定 N P O 法人 難民を助ける会 理事長 長 有紀枝 様

公益財団法人イオンワンパーセントクラブ 理事長 横尾 博

6. 支援内容: 岩手県、宮城県、福島県の障がい者就労支援事業所の生産設備の拡充、

販売会の開催支援など

### 「AAR Japan (認定NPO法人 難民を助ける会)」について



AAR Japanは、1979年にインドシナ難民を支援する市民団体として日本で設立しました。これまでに60を超える国や地域で、自然災害の被災者や紛争による難民の支援をはじめ、障がい者支援、地雷対策などに取り組んでいます。

## **ご参考** 公益財団法人イオンワンパーセントクラブの主な活動内容

#### ◆次代を担う青少年の健全な育成に資する事業

**<イオン チアーズクラブ>** 

地域の小中学生に環境学習の機会を提供。環境への興味・関心や考える力を養成。

**<AEON eco-1グランプリ>** 

エコ活動の普及を目指し、全国の高校生のエコ活動を顕彰。

## <学校建設支援>

アジア地域で子どもたちの教育環境の整備を支援。全国で実施した募金に ほぼ同額を上乗せし、校舎の建設と附属設備の設置および教員養成などを支援。

<セーフウォーターキャンペーン>

学校建設支援地域において、安全な水の供給や給水施設の設置を支援し、水汲みで学校へ通えない子どもたちを、健康・教育の両面でサポート。

#### 【学校建設支援】







ネパール学校開校式

ミャンマー新校舎

新校舎に喜ぶ子どもたち

#### ◆諸外国との友好親善の促進に資する事業

<ティーンエイジ アンバサダー>

海外と日本の高校生が互いの国を訪問し、表敬活動、交流活動、歴史・文化理解活動 を通じて国際的な相互理解と親交を深める交流プログラム。

**<アジア ユースリーダーズ>** 

アジア6ヵ国の高校生が一堂に会し、開催国の社会問題をテーマに視察やディスカッションを実施するプログラム。多様な価値観を認め合う姿勢を養成。

**<イオン スカラシップ>** 

アジア各国で学ぶ大学生に奨学金を給付し、次代を担う青年たちの夢の実現を支援。

#### 【ティーンエイジ アンバサダー】







首相官邸訪問

中国での授業体験

ミャンマーで托鉢体験

#### ◆地域社会の持続的発展に資する事業

くふるさと未来支援>

地域の伝統文化や歴史風土の継承とより良いコミュニティづくりを支援。

く災害復興支援>

大規模自然災害で被災した地域の復興と未来へ向けた発展を支援。

<公益法人への支援>

当財団の設立主旨に副う活動を行う公益法人を支援。

## 【ふるさと未来支援】







イオン ふるさと発見伝



イオン すくすくラボ

\*活動の詳しい内容はこちら(https://www.aeon.info/1p/)をご覧ください。